

淀川河川流域委員会
最終意見書まとめる

宇治川1500トン放流の「見直し・再検討を」 天ヶ瀬ダム再開発は「適切でない」

国交省の諮問機関で学識経験者らでつくる淀川河川流域委員会は8月27日、天ヶ瀬ダム再開発（巨大トンネル）など4ダムの建設・再開発について「（治水）効果は限定的で緊急性は低く、建設は不適切」などとする最終意見書をまとめました。意見書で「ぜい弱な堤防の強化を最優先すべき」、

宇治川の目標流量について「天ヶ瀬ダムからの放流量の増大は、現状より宇治川の安全度を低下させる場合がある（見直し・再検討を）」、天ヶ瀬ダム再開発について「効果は限定的で、緊急性は低い」「活断層の存在についての疑義がある」、天ヶ瀬再開発は「適切ではない」と指摘しています。

国交省の計画案に

「歓迎」談話を出している市長

問われる市長の見識

「歓迎」ではなく「見直しを求めている」

宇治川1500トン放流
天ヶ瀬ダム再開発（巨大トンネル）計画

「宇治川の安全度を低下させる」

淀川4ダム不適切
流域委 自主会合で最終意見書
2008年9月28日
国土交通省の諮問機関「淀川河川流域委員会」がまとめた最終意見書



国交省は6月20日、流域の巨大トンネル建設）や宇治川1500トン放流を盛り込んだ計画案を強引に発表。宇治市長は「歓迎」談話を発表しています。

防災・市民の会は「危険でムダ」と指摘し署名運動に取り組んできました。流域委は最終意見書で「現状より宇治川の安全度を低下させる」「適切でない」と指摘しました。

市長は流域委の最終意見書や市民の声を踏まえて、国交省に「歓迎」ではなく「見直しを求め、その立場で知事に意見を述べざるべきではないでしようか。」

9月議会
に請願！
要求を実現しよう



府内15市で4番目に高い 4219筆
国保料の引き下げを

無料でないのは府南部で
宇治だけ(通院・就学前) 2666筆
子ども医療費を無料に

後期高齢者医療制度
政府・与党が大きく動揺 「こまかし作戦」

「大胆に見直す」→「根幹は維持する」

総選挙で前進し廃止を実現しよう
市長選勝利で廃止へ追撃しよう



麻生首相が「抜本的に見直す」9月21日）述べていました。が翌日「制度自体がまるまる悪い」ということはない」と一転。総選挙への「こまかし作戦」と批判の声があがっています。

市長は流域委の最終意見書や市民の声を踏まえて、国交省に「歓迎」ではなく「見直しを求め、その立場で知事に意見を述べざるべきではないでしようか。」



市民の声を大切に、誰もが安心して暮らせる宇治へ 市民とともに歩む市政を

みんなの宇治

2008年10月 NO.170
21 宇治市民ネット
宇治市宇治番120-1
興業ビル2F
宇治民商気付
ujisiminnet@yahoo.co.jp

宇治小
「小中一貫校」

「宇治小に中学校の併設は誰が見てもに無理」

宇治小「小中一貫校」計画は白紙に戻し
単独校として早期に建替えを

宇治小は宇治市の1番狭い中学校よりまだ狭い

こんな狭い敷地に
中学校の併設？

(模島中)
敷地面積 23,369㎡
生徒数現在 330人 (10クラス)



(宇治小)
敷地面積 21,557㎡
生徒数現在 810人 (26クラス)

宇治市はH24年の「宇治小」児童数を710人と推計。これに中1～3を加えて「一貫校」3年目の児童生徒は少なく見積もっても1097人と推計できる(*)。

子ども達が
のびのび過「せま」すか？

*市教委の推計をもとに「考える会」が推計。

強引な市政運営

耐震強化のために「宇治小の建替えを」の願いが「小中一貫校」にすり替えられ、小中一貫校(2011年開校)の話が進められています。宇治小「小中一貫校」を考える会懇談会(8月23日)で保護者の方が「どこか知らないところで事が決まっています。腹立たしい」と述べていました。

市長方針を押し付ける強引な市政がここでも進められています。

「どこか知らないところで腹立たしい」(保護者)

多くの人数で窮屈ですが、小1〜中3まで発達段階が大きく違う子が共同生活を想像するだけでも、体育館、プール、音楽室などの特別教室は小・中にそれぞれ必要。運動場も1つでは狭いだけでなく危険です。

学校の敷地面積			
学校名	生徒数(人)	敷地面積(㎡)	内グラウンド(㎡)
宇治小	810	21,557	10,676
東宇治中	847	29,054	12,497
木幡中	908	27,465	14,481
模島中	330	23,369	14,001
「一貫校」	1,097	21,557	?

面積は宇治市施設台帳より。生徒数は2008年5月1日。「一貫校」は宇治小を小中一貫校にした場合の2014年の推計値。

就学援助の大改悪 4人に1人が打ち切り

所得の低い世帯の児童生徒の給食費などを援助する就学援助制度。宇治市は今年度基準を改悪。その結果、昨年度に認定を受けた児童生徒2,625人の内、今年度、継続申請をしたのは、卒業生など除く2,253人でした。そのうち549人(24%)、4人に1人が打ち切りになりました。

2007年度			
小・中計	申請者2778人	認定者2625人	児童生徒数16020人
内小学生	申請者1995人	認定者1883人	児童数11162人
2008年度			
小・中計	申請者2807人	認定者2052人	児童生徒数16093人
内小学生	申請者2000人	認定者1450人	児童数11250人

市民の願いとかけ離れた市長発言

市長

野党の廃止法案も与党の見直し案も

「自治体ごとくは迷惑」

お年寄りの怒りと願いに応えるより自治体の都合が大事な市長発言

6月議会で答弁

市民

9割「中止・廃止」又は「見直し」を要求

市民アンケート「中止・廃止」55.0%
「見直し」35.2%

後期高齢者医療制度